

第5回検討会宿題事項

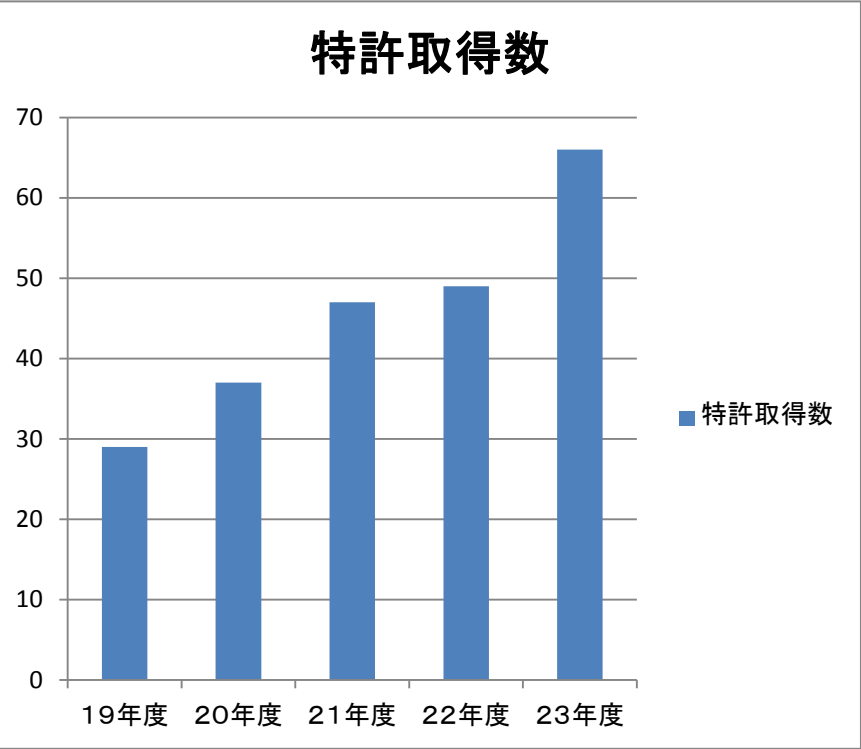
○国立高度専門医療研究センターの特許取得数について
(資料 1－1)

○国立高度専門医療研究センターの疾患別患者割合について (資料 1－2)

※参考

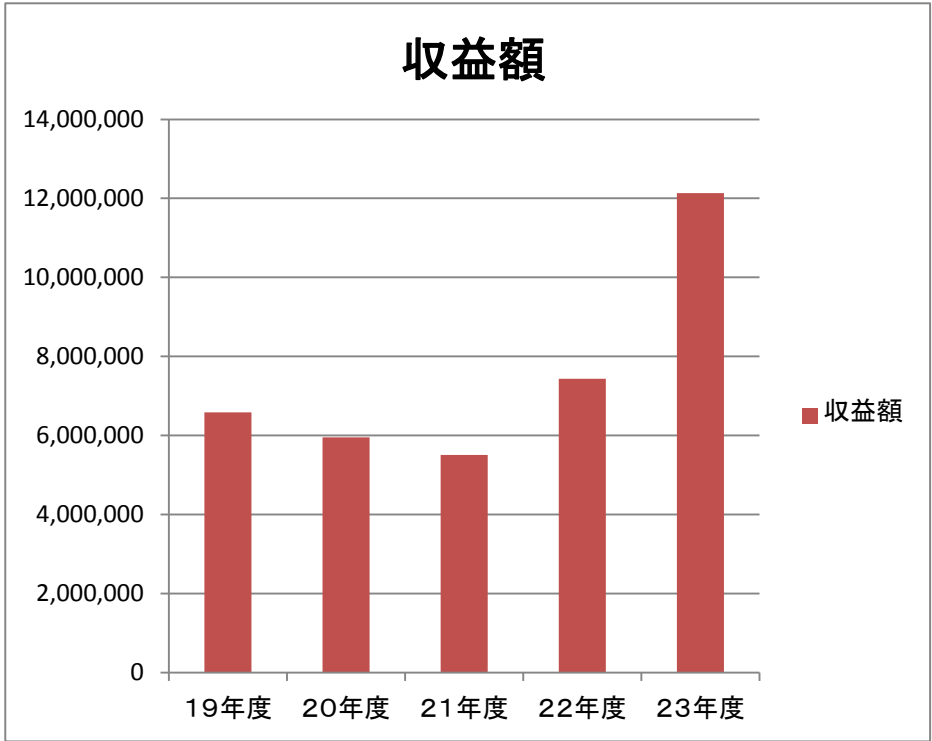
○国立高度専門医療研究センターの病院機能等について
(資料 1－3)

国立高度専門医療研究センターの特許取得数について



	国			独法	
特許取得年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
特許取得数	29	37	47	49	66

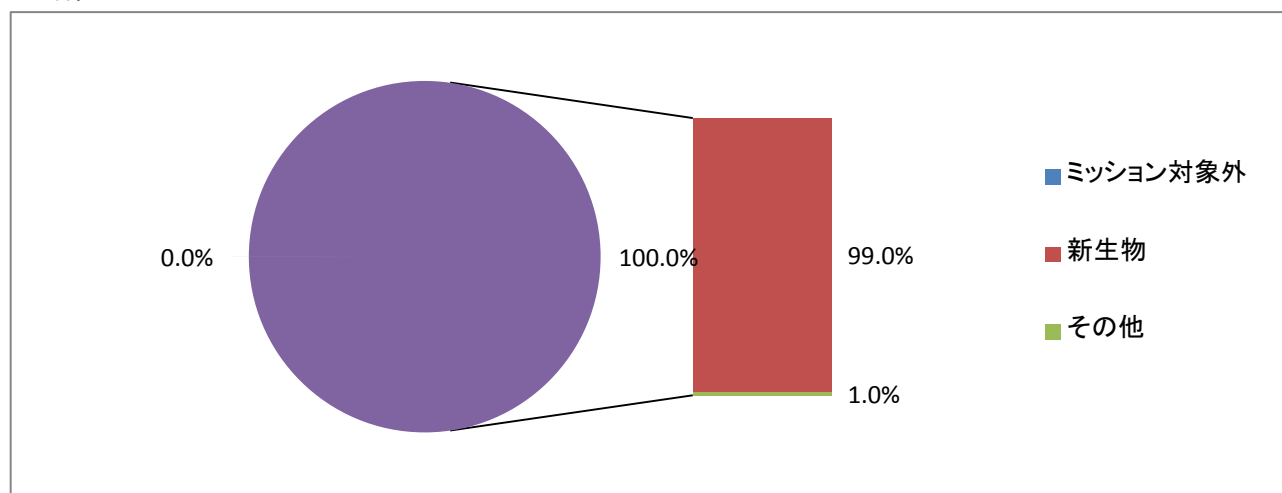
※平成24年11月1時点で保有している特許について集計



	国			独法	
収益額	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	6,586,490	5,949,020	5,506,937	7,436,411	12,130,963

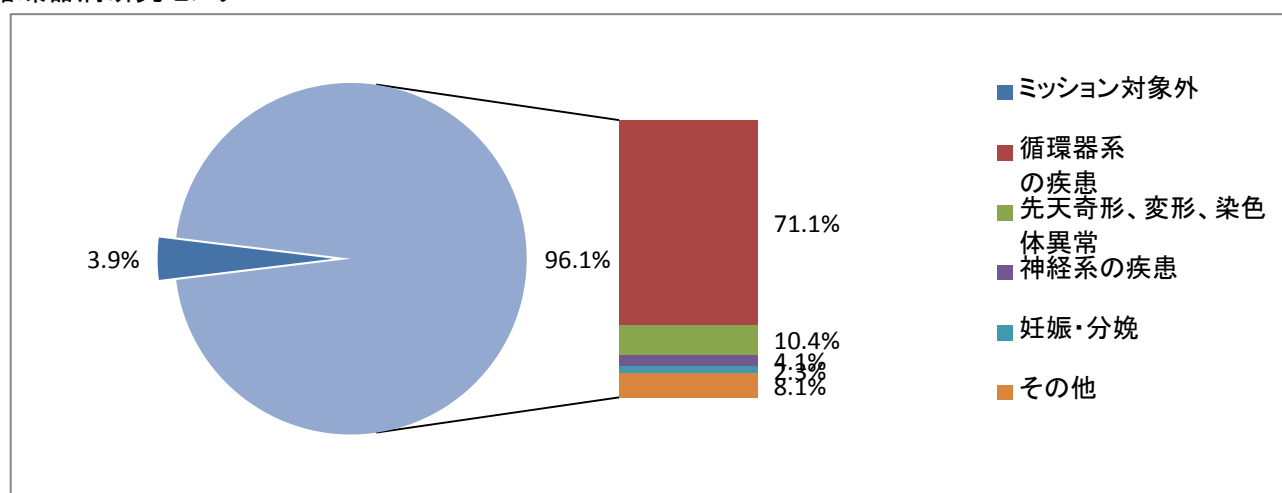
国立高度専門医療研究センターの疾患別患者割合について

がん研究センター



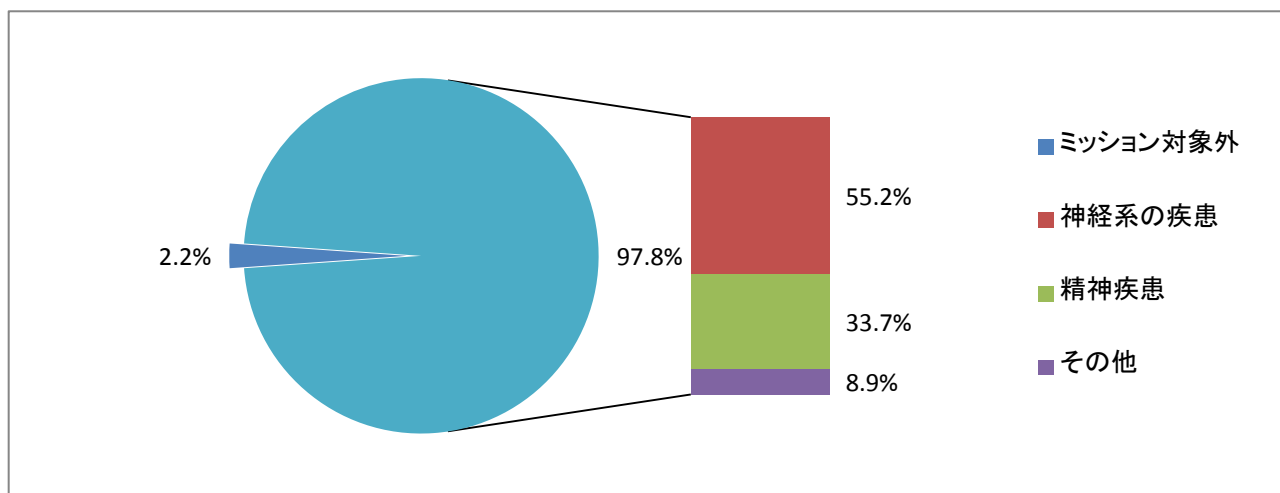
入院患者数 ※8月実患者数		ミッション対象					ミッション 対象外
		新生物				その他	
中央 病院	1,743	1,724				19	0
東病院	1,015	1,007				8	0
合計	2,758	2,731	0	0	0	27	0

循環器病研究センター



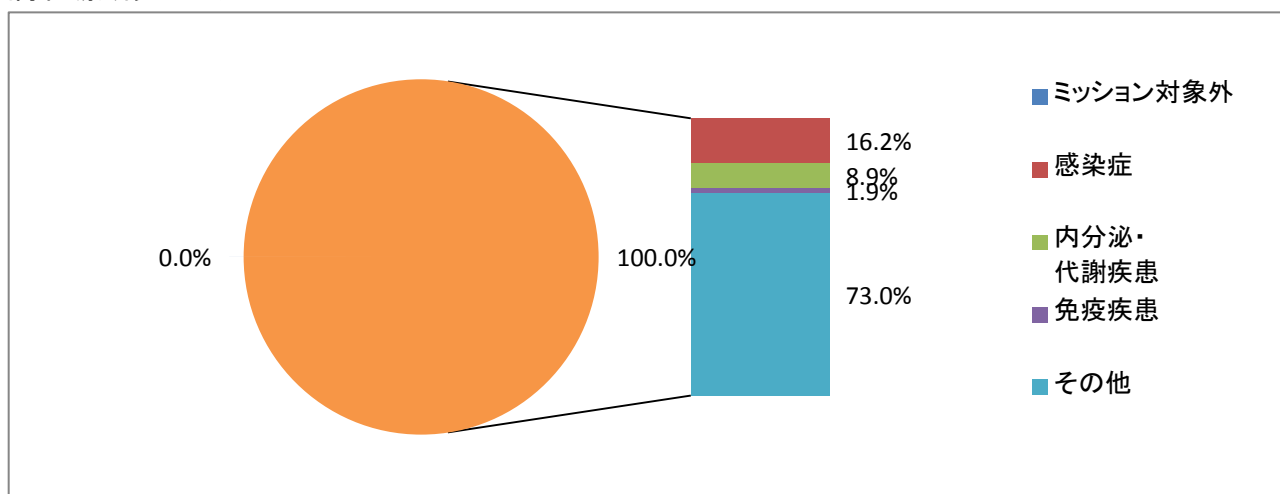
入院患者数 ※8月実患者数		ミッション対象					ミッション 対象外
		循環器系の疾患	先天奇形、変形、染色体異常	神経系の疾患	妊娠・分娩	その他	
	1,452	1,033	151	60	34	118	56

精神・神経医療研究センター



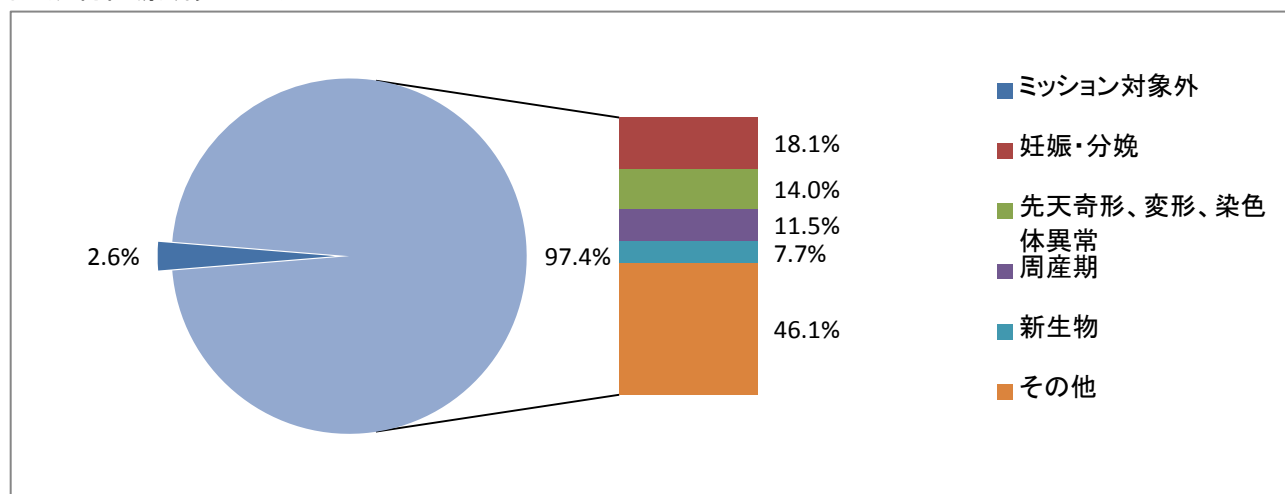
入院患者数 ※8月実患者数	ミッション対象					ミッション 対象外
	神経系の疾患	精神疾患			その他	
766	423	258			68	17

国際医療研究センター



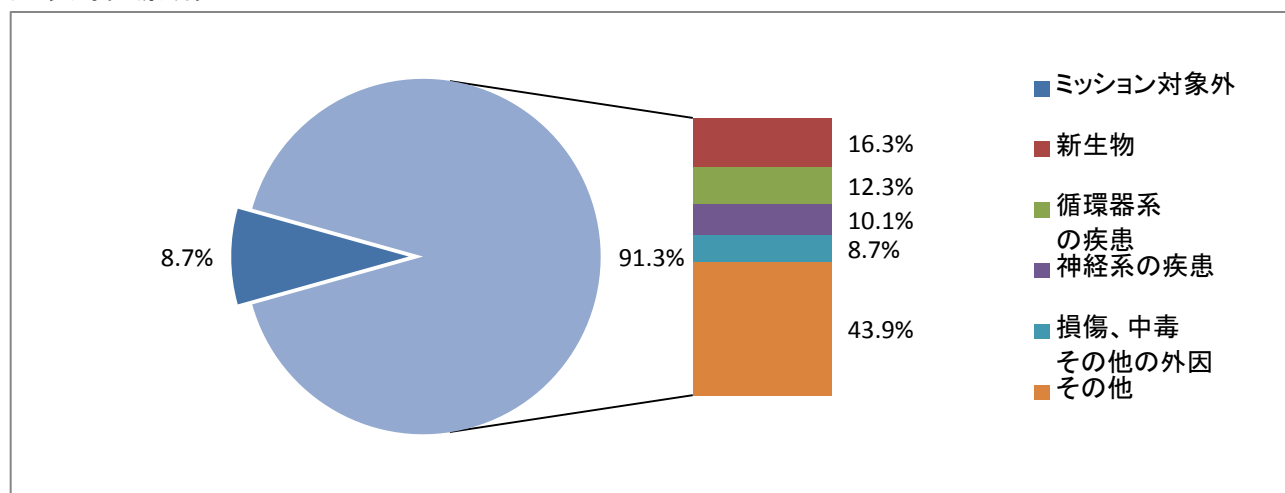
入院患者数 ※8月実患者数		ミッション対象					ミッション 対象外
		感染症	内分泌・代謝疾患	免疫疾患		その他	
センター 病院	1,391	286	146	29		930	0
国府台 病院	586	35	30	8		513	0
合計	1,977	321	176	37	0	1,443	0

国立成育医療研究センター



入院患者数 ※8月実患者数	ミッション対象					ミッション 対象外
	妊娠・分娩	先天奇形、変 形、染色体異常	周産期	新生物	その他	
1,510	273	212	174	116	696	39

国立長寿医療研究センター



入院患者数 ※8月実患者数	ミッション対象					ミッション 対象外
	新生物	循環器系の 疾患	神経系の疾 患	損傷、中毒 その他の外因	その他	
633	103	78	64	55	278	55

病院機能等について【病院毎の一般診療情報等】

【平成23年度】	単位	がん		循環器	精神・神経	国際		成育	長寿	6NC平均
		中央病院	東病院			センター病院	国府台病院			
病床数(一般)	床	600	425	618	156	719	430	490	383	478
1人1日当たり入院点数(一般病棟)	点	7,193	5,814	9,505	5,127	6,545	3,956	8,127	4,164	6,304
1日当たり入院患者数(一般病棟)	人	497	350	489	108	571	151	378	224	346
1日当たり新入院患者数(一般病棟)	人	36.6	23.6	26.7	7.2	39.7	8.5	33.1	11.7	23.0
平均在院日数(一般病棟)	日	13.6	14.8	18.3	15.1	14.3	18.0	11.5	19.2	16.0
1人1日当たり外来点数	点	2,427	2,872	1,234	974	1,286	832	1,717	1,132	1,559
1日当たり外来患者数	人	1,073	777	628	478	1,603	773	962	506	850
1日当たり初診外来患者数	人	38.9	26.8	37.6	23.0	116.4	35.8	116.5	39.0	54.0

↑ 病床数は、感染症4床を除く

【参考】	単位	精神・神経				国際(センター病院)		国府台病院
		精神	重心	筋ジス	医療観察法	結核	精神	精神
病床数(一般以外)	床	140	60	50	68	40	38	192
1人1日当たり入院点数	点	2,258	3,454	3,409	5,473	2,561	3,131	2,561
1日当たり入院患者数	人	125	67	33	64	35	21	127

病院機能等について【高度先駆的な医療の一例】

【平成23年度】

がん研究センター	○先進医療として、胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法をはじめとした、8種類の治療を提供するとともに、センターのみで受けられる高度先駆的な治療として、眼腫瘍科や放射線治療科による眼内腫瘍に対するルテニウム小線源治療をはじめとした、19種類の治療を提供した。
循環器病研究センター	○新たに先進医療として「経胎盤の抗不整脈薬投与法胎児頻脈性不整脈」の治療が承認され、従来から承認されている先進医療と併せ、6つの先進医療を実施している。 ○具体的には、内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチSサージカルシステム)の心臓手術への使用について、医療保険の適用を目指した治験を開始し、23年度は「重度僧帽弁閉鎖不全症」の手術を7例実施した。
精神・神経医療研究センター	○平成23年度におけるミトコンドリアDNA検査を109症例に行い、全てにミトコンドリアDNA全体の塩基配列決定検査や光トポグラフィー(270例)を実施し、パーキンソン病患者に薬剤血中動態モニターに基づく高度先駆的な治療(75件)等を実施した。
国際医療研究センター	○HIV・エイズ患者に対し、薬剤耐性や薬剤血中濃度のモニターに基づき、個々人の病態に即した医療を年間150例以上提供するという計画に対し、682例実施した。また、先進医療について、平成23年度においては、先進医療既存技術2件について実施した。 ●先進医療既存技術2件、先進医療新規技術3件及び高度医療新規技術1件の申請に向けて準備している。
成育医療研究センター	○年間小児肝移植症例数は世界最多となる38例を実施し、生存率90%と良好な成績であるとともに、先進医療である「双胎間輸血症候群に対するレーザー手術」は、最新のEBMで双胎間輸血症候群に対する第一選択治療となっており、40例を施行するなど、最新のEBMに基づく成育医療を提供した。
長寿医療研究センター	●運動器疾患の転倒における「共通で重要なポイント」として「姿勢と転倒」という新たな概念を提唱し、歩行と転倒の動的観察に基づき足関節筋力と柔軟性、膝関節屈曲、脊椎後弯と転倒の関連を明らかにし、姿勢による転倒危険度を測定する「Dorsiflex meter」を開発した(平成24年度は約300名に実施)。

※平成24年度独立行政法人評価委員会高度専門医療部会の総合評価書より

※「○」で分類した項目は、平成23年度において、既に医療の提供に繋がった事例であり、「●」で分類した項目は、平成23年度では開発段階であり、今後、医療の提供に繋がるものとして整理した。